

Hitachi Diagnostic Tool

HDM-350

重要

ご使用前に必ずお読みください

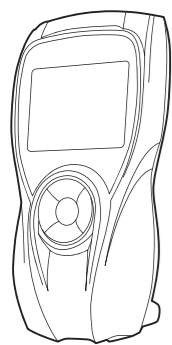
出荷時に診断ソフトはインストールされていません。
登録とアップデートを行ってから、
診断を行ってください。

下の画面の場合は診断ソフトがインストールされていない状態です。本書を参考にユーザー登録とアップデートを行って最新の状態でご使用ください。
アップデートツールはWindows 10以降に対応しています。

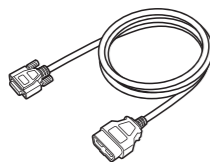


HDM-350 パッキングリスト

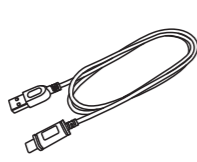
本製品のパッケージには以下の商品が含まれています。
お使いになる前にご確認ください。



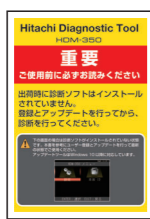
HDM-350 本体… 1台
(保護フィルムを剥がしてご使用ください。)



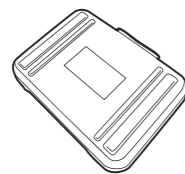
OBD II ケーブル… 1本



USB ケーブル (Type-C) … 1本



クイックスタートガイド… 1部
(本書)



キャリングケース… 1個

リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

保証期間について

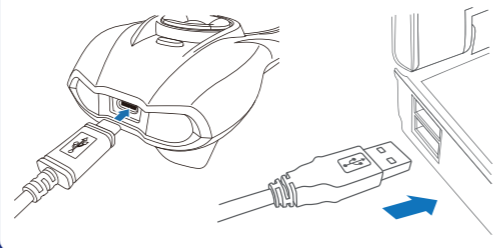
保証期間：ユーザー登録から 1 年間

期間終了後 1ヶ月以内にアップデート延長申し込みいただいた場合に限り、
本体保証も 1年間延長されます。

登録とアップデート (Windows 10での操作例)

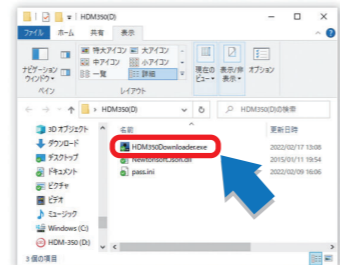
ステップ 1

HDM-350とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。



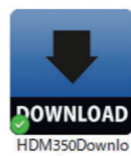
ステップ 2

パソコンの画面にHDM-350フォルダが表示されます。※1



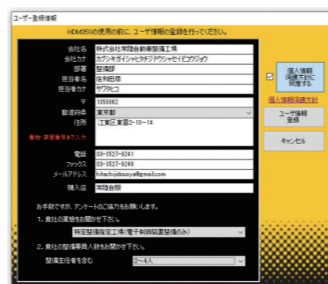
ステップ 3

HDM-350フォルダ内にあるHDM350 Downloader.exeをダブルクリックしてください。
サーバーからHDM-350アップデートツールがダウンロードされます。



ステップ 4

「ユーザー登録情報」が表示されます。「個人情報保護方針」をクリックして弊社の個人情報の取扱規約を確認後「個人情報保護方針に同意する」をクリックし、その後にユーザー情報の入力とアンケート回答を行ってください。※2



ステップ 5

入力後「ユーザー情報登録」ボタンをクリックします。

ユーザー情報
登録

ステップ 6

①「アクティベートを行います」が表示されたら、メッセージ内の「OK」ボタンをクリックします。

②ユーザー情報で入力したメールアドレスに「HDM-350仮登録完了」のメールが送信されます。
本文中のURL (リンク情報) をクリックします。※3



③「登録を完了しました」のメッセージが表示されます。

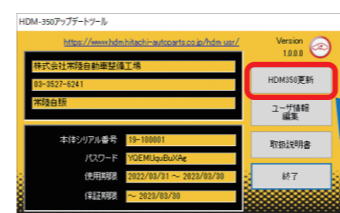
④ステップ2で開いたHDM-350フォルダ内にある、HDM350.exeのアイコンをダブルクリックしてください。



ステップ 7

アップデート

HDM-350アップデートツールが表示されます。
HDM-350更新をクリックしてください。



ステップ 8

アップデート

アップデートが始まりHDM-350ソフトが書き込まれます。※4



完了

アップデート

「アップデート完了」が表示されましたら、「閉じる」をクリックして次にアップデートツールの「終了」をクリックしてパソコンからHDM-350を取り外してください。※5



注意

セキュリティソフトについて

HDM-350をパソコンに接続した場合や、「HDM350Downloader.exe」(アプリケーション)を実行した場合にセキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除または隔離したり、通信をブロックすることがあります。
その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

※1：「自動再生」が表示された場合は「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックしてください。また、パソコンの設定で自動再生が機能しない場合は手動でパソコンのドライブを開き「HDM350Downloader.exe」を実行する必要があります。

Windows 10の場合は画面下のツールバーから[エクスプローラー]—[PC]—[HDM-350]を開きます。

※2：必ず「個人情報保護方針」をクリックして弊社の個人情報の取扱規約を表示させて内容を確認し、その後「個人情報保護方針に同意する」ボタンをクリックしないとユーザー登録が行えません。ユーザー登録画面の入力欄は全て入力してください。未入力欄があると送信できません。

また、アンケートは入力欄の▼マークをクリックすると選択肢が表示されますので該当する項目をクリックして選択してください(質問2は自社が認証工場では無い場合は該当する人数を選択してください)。

尚、メールアドレスを間違えると「HDM-350仮登録完了のお知らせ」が届きませんので、間違えないように必ず半角英数字で入力してください。入力が正しくないと同時に「送信できません」のメッセージが表示されます。

※3：「HDM-350仮登録完了のお知らせ」が届かない場合は、メールアドレスの間違いや「迷惑メール」フォルダなどをご確認ください。

また「ステップ5」で複数回「ユーザー情報登録」ボタンを押した場合は、その回数分メールが配信されますので、最新の「HDM-350仮登録完了のお知らせ」のリンクをクリックしてください。
アップデート期間が表示されていれば認証完了になります。登録した情報は2年目以降の更新申込時に必要になります。印刷や保存などして大切に保管してください。

※4：「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが開始されない場合は、本体内部メモリをフォーマットする必要があります。
フォーマット前に必要な以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・HDM350Downloader.exe (アプリケーション)
- ・pass.ini (構成設定ファイル)
- ・Newtonsoft.Json.dll

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した3つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

※5：HDM-350本体のパソコンからの取り外しは、本体内のファイルの破損を防止するため、以下の手順で行ってください。
①パソコン上のHDM-350フォルダを閉じてください。
②パソコンのタスクトレイの取り外しアイコンをクリックしてください。
③「JOBBDII SCAN TOOLの取り出し—HDM-350」をクリック。
④「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、HDM-350本体をパソコンから取り外してください。

取扱説明書の保存

取扱説明書はPDFファイルになっています。
ご覧になるにはAdobe®READER®が必要です。またバージョンの違いで表示できない場合がありますので最新バージョンをダウンロード/インストールしてご覧になることをおすすめします。

※以下はWindows 10での操作例です。

ステップ 1

「HDM-350アップデートツール」を起動して[取扱説明書]をクリックします。

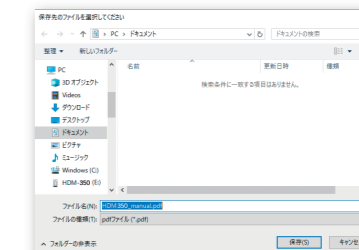


ステップ 2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。

ステップ 3

ダウンロードが完了すると保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存してください。
保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。



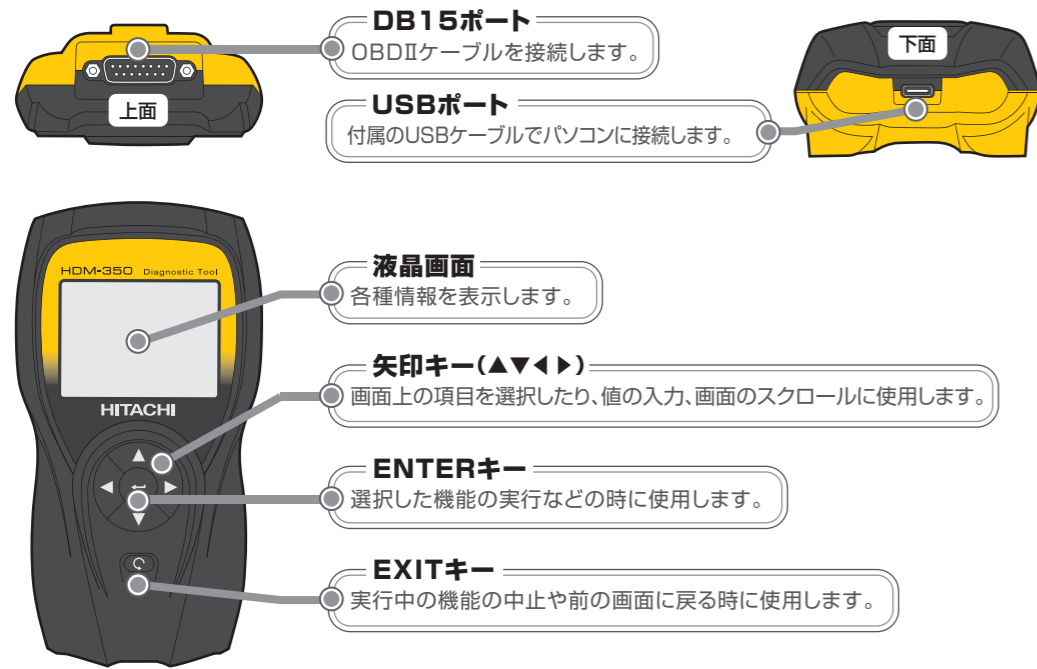
ステップ 4

保存が完了するとPDFファイルの取扱説明書が表示されますので、ご参照ください。

HDM-350 クイックスタートガイド

202203

各部名称



画面説明

診断
各種診断を行います。

OBD II
グローバルOBDIIソフトを起動します。

設定
言語など本体設定を行います。

タイトル
現在のシステムやメッセージが表示されます。

システム
システム名が表示されます。

故障コード数
故障コード数が表示されます。

故障コード
P/B/C/Uで始まる故障コード、メーカー独自コードなどが表示されます。

データ保存
データを本体内に保存します。[履歴]メニューまたはパソコンで表示できます。

特殊機能
メンテナンスモード、DPF再生、エーミング、簡易バッテリー計測を行います。

履歴
保存した故障コードやデータなどを画面に表示することができます。

本体 ID
シリアルNo.・アップデート期間を表示します。

バッテリー電圧
接続されている車両のバッテリー電圧を表示します。

選択カーソル
選択されている項目欄の色が変わり、文字が反転して表示されます。

ページ数
ページ数が表示されます。上下キーで表示内容が変更できます。

故障コード内容
故障コードの内容が表示されます。

メインメニュー画面
HDM-350 メニュー

全自己診断結果画面
診断結果

故障コード表示画面 (詳細表示)
現在故障 (1/1)

基本操作 (全自己診断) 診断を行なう場合は以下の手順で操作してください。

- ・ソフトのアップデートを行い最新の状態でご使用ください。
- ・本体やケーブルに破損や損傷などが無いことを確認してください。
- ・診断は基本的にイグニッション「ON」の状態で行ってください。
- ・診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションがONであるか確認してください。
- ・診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションをOFFにして取り外してください。

ステップ 1
車両が**イグニッションOFF**であることを確認してHDM-350を接続しイグニッションONにします。

ステップ 2
メインメニューが表示されます。「診断」を選択して[ENTER]キーを押します。
※初期設定直後は先に言語設定画面が表示されます。言語を設定して[ENTER]キーを押します。

ステップ 3
メーカー選択画面が表示されますので、診断するメーカーを選択して[ENTER]キーを押します。

ステップ 4
診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は選択して[ENTER]キーを押します。

ステップ 5
診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択して[ENTER]キーを押します。

ステップ 6
「ブランド」「車名」「型式」などを[ENTER]キーを押して順に選択していきます。

ステップ 7
診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読み取りは「診断」を選択して[ENTER]キーを押します。

ステップ 8
例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択して[ENTER]キーを押します。

ステップ 9
車両の各システムの故障コードを読み取ります。

ステップ 10
全自己診断完了の画面です。「診断結果」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。

診断結果の表示

故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例:コードが2個ある場合「2 DTC」)

故障コードと内容を確認するには希望するシステムを選択して[ENTER]キーを押します。続いて「故障コードの読み取り」を選択して[ENTER]キーを押します。

故障コードは番号(例:P030100)と内容(例:失火検出#1)が表示されます。故障コードに選択カーソルを合わせて[ENTER]キーを押すと詳細表示に切り替わります。

診断結果の保存

診断結果を保存したい場合は「データ保存」を選択して[ENTER]キーを押します。

「保存しました」のメッセージとともに画面中央に保存されたファイル名が表示されます。保存したファイルはパソコンで確認できます。ファイルは本体内の「Reports」フォルダに保存されています。

診断結果の消去

故障コードの消去を行う場合は「全自己診断消去」を選択して[ENTER]キーを押します。各システムの故障コードを消去していきます。

※消去は**イグニッションON**で行います。

※消去できない場合は、現在も故障が発生しており、現在故障としてコードがメモリされている状態です。